

千西一週

入試広報係
×
編集局共同制作号

第63号
発行
2020年
6月1日(月)
上田西高校
新聞委員会
編集局
編集局長:松木萌愛
×
入試広報係
写真:入試広報係

コロナ禍の逆境も 歩み止めず

新聞委員会編集局では、入試広報係の先生方が執筆したホームページの記事について編集局員が気になったものを取り上げ、それに関連した記事を書く新しい取り組みを始めます。
今回はコロナ禍の中での上田西高校での取り組みを紹介し、休校の期間が長かったわけですが、オンライン授業の実施など学校側も工夫して生徒をサポートする体制を整えました。生徒の中にも、自分のためではなく、社会のために行動している人もおり、同じ西高生として誇りに思います。(松木萌愛)

オンライン授業スタート

今日からオンライン授業が開始しました。家にいる生徒たちは、スマートフォンやパソコンなどの画面を通して授業を受け、寮生たちは学校に登校して授業を受けました。通常は50分間の授業ですが、オンラインでの授業は半分の25分間で行われました。パソコンにパワーポイントや黒板を使って授業を行ったり先生や電子黒板や黒板を使って授業を行いパソコンに映す先生など、授業のやり方は先生によって様々です。普段は生徒を目の前に授業を行っているの、生徒の表情や反応を確認しながら授業を進められます。オンライン授業はパソコンの画面に向かって授業をするため、やり辛さを感じた先生もいました。授業をする我々教員



オンライン授業の研修を行い(写真上)、(写真下)先生方の様子



も授業を受ける生徒たちもオンライン授業は慣れないところはありますが、4月から一ヶ月以上授業ができていなかったため、授業を受ける喜びを感じられたのではないかと思います。授業があるという幸せを感じながらオンライン授業を進めていきたいと思えます。(5月12日(火)入試広報係)

1学期中間確認テスト実施

先週1週間はオンライン授業を試行しました。今週からは1学期中間確認テスト期間ということ、来週の月曜日までのテストが行われます。今回のテストは通常のテストとは異なり、感染防止のために学年ごとに分散登校をし、テストを受ける教室もクラスを名簿番号の奇数と偶数の2グループに分けて2つの教室を使

用して行いました。また教室の席も生徒同士の距離を十分に取るなど万全の注意を払いながらのテスト実施となりました。テストは臨時休校中に各教科から出された課題から主に課題されます。テスト前の教室では生徒たちが課題のプリントや教科書などを見ながら一生懸命に勉強する様子が見られました。また、臨

時休校中に会えなかった友達と久しぶりに再会し、楽しそうに談笑する姿も見受けられました。休校中は生徒が登校せず、学校は静まり返って寂しく感じられましたが、生徒達が登校した学校は沢山の話し声や笑顔が溢れ、いつもの学校の風景を取り戻してしまいました。通常の学校生活に戻るまでに



1学期中間確認テストに向けて勉強する生徒の様子

はまだ時間がかかりそうですが、早くいつもの日常に戻ってきてほしいなと感じました。(5月18日(月)入試広報係)

自粛生活が始まった。今まで当たり前だと思っていた生活が一変した。初めての自粛生活や学習への不安が募る日々。勉強しなきゃと分かっていながらだらけてしまったり自分にも腹がたっていた。そんな中、全国の学校で実施が検討されていたオンライン授業が西高で導入された。自主学習での理解が難しい部分も補うことができ、だらけがちな生活にもメリハリがつけられた。西高の手厚い指導ポ

未来を信じて 前向きに

中国武漢市で新型コロナウイルスの感染者が確認されて以来、ウイルスは世界中に拡散

日本でも感染は全国に広がり、緊急事態宣言が出されるまでに至った。学校は休校になり、

自粛生活が始まった。今まで当たり前だと思っていた生活が一変した。初めての自粛生活や学習への不安が募る日々。勉強しなきゃと分かっていながらだらけてしまったり自分にも腹がたっていた。そんな中、全国の学校で実施が検討され

休校中、生徒の中にも今自分ができることを考えた人がいる。1年生の土屋明日香さん、3年生の湯本未侖さんは少しでも役に立てたらと手作りマスクを製作し、西高JRC部と共に上田市社会福祉協議会に寄贈した。今、この状況で出来ること。工夫次第でそれは無限だ。



手作りマスクを寄贈した左から山浦養護教諭、湯本さん、土屋さん

手製マスクを上田市社会福祉協議会に寄贈

ルスが全世界に猛威をふるっています。そして、日常生活を送る上でマスクが欠かせなくなっています。特に、新入生の土屋さんは77枚のマスクを製作しました。きつかけは、ニユースで有志の方々が作っているのを見て、また、お母さんの勧めもあったからだとおっしゃいます。お母さんが裁縫をやっていたり、自宅に生地がありそれを活用しました。1時間で5枚のペースで制作し、入学式後より創り始めたこととです。マ

スクの型を作るのが、特に大変だったと話してくれました。さらに、ピンクの生地にはピンクの糸を使うなど、工夫を凝らしたそうです。この大変な時期に、世のため人々のための実践は本当に尊いと感じました。
【上田市社会福祉会寄贈品】
手作りマスク91枚、ビニール手袋100セット、風邪マスク23枚、手作り携帯用つまようじ17個。
(4月28日(火)入試広報係)

JRC部部長の湯本未侖さん(3年生上田第四中)、顧問の山浦さゆり先生、そして、新入生の土屋明日香(上田第三中)さんが

マスク91枚を製作、市販のマスク他と共に、上田市社会福祉協議会に寄贈しました。新型コロナウイルス